国土交通省

記者発表資料

平成３０年３月３０日

国土交通省
東北地方整備局　福島河川国道事務所　郡山国道事務所
磐城国道事務所　三春ダム管理所
摺上川ダム管理所　小名浜港湾事務所
北陸地方整備局　阿賀野川河川事務所　阿賀川河川事務所

福島県内の東北・北陸地方整備局関係 平成３０年度事業概要について

福島県内において国土交通省の実施する事業に関する平成３０年度の事業概要についてお知らせします。

〈予算のポイント〉

「東日本大震災からの復興・創生」、「国民の安全・安心の確保」、「生産性向上による成長力の強化」に重点的に取り組み、『元気で明るい東北の実現』を目指します。

○　東日本大震災からの復興に向けて、道路、河川、港湾等基幹インフラの整備を着実に推進します。また、大震災の教訓伝承と風化防止への取り組みを推進します。

○　激甚化する水害・土砂災害等に備えるため、防災意識社会への転換を図りつつ、ハード・ソフトを総動員した防災・減災対策を推進します。また、加速するインフラの老朽化への対策を推進します。

○　安全で円滑な物流等のための道路ネットワーク構築や、地域の基幹産業を支える港湾施設の整備など、ストック効果を重視した生産性向上に寄与する社会資本整備を推進します。

○　ＩＣＴ活用などによる建設現場の生産性向上を図る「i-Construction」の推進や、建設業の担い手確保に向けた「東北復興働き方・人づくり改革プロジェクト」を推進します。

〈平成３０年度　福島県内直轄事業当初予算〉　　（単位：百万円）

事業区分		Ｈ３０年度予算	Ｈ２９年度予算（参考）
河川関係事業費	国交省計上分	３，１７９	３，８４０
	(参考)復興庁計上分	０	０
	計	３，１７９	３，８４０
道路関係事業費	国交省計上分	８，３１６	１５，３２６
	(参考)復興庁計上分	３０，５９９	３９，０７７
	計	３８，９１５	５４，４０３
港湾関係事業費	国交省計上分	０	０
	(参考)復興庁計上分	７，９６０	９，６９２
	計	７，９６０	９，６９２

※本表の他に、災害復旧費(治水関係)として74百万円がある。
※上記金額は、工事関係費(業務取扱費は除く)で記載。
※上記金額は、維持修繕関係事業費を除く金額で記載。

〈発表記者クラブ〉
○福島県政記者クラブ　○福島市政記者クラブ　○郡山記者クラブ
○会津若松市記者クラブ　○いわき記者会　○いわき記者クラブ
○いわき市ふるさと発信課　○南相馬市役所記者クラブ

【問い合わせ先】

◎国土交通省 東北地方整備局

○福島河川国道事務所　TEL 024-546-4331
副所長（河川）　佐藤（さとう） 勝美（かつみ）　（内線204）
副所長（道路）　佐野（さの） 智樹（ともき）　（内線205）

○郡山国道事務所　TEL 024-946-0333
副所長（改築）　増澤（ますざわ） 亨（とおる）　（内線204）
副所長（管理）　松前（まつまえ） 好則（よしのり）　（内線205）

○磐城国道事務所　TEL 0246-23-2211
副所長（改築）　石井（いしい） 重好（しげよし）　（内線204）
副所長（管理）　小山（おやま） 茂（しげる）　（内線205）

○三春ダム管理所　TEL 0247-62-3145
所長　菊地（きくち） 裕光（ゆうこう）　（内線201）

○摺上川ダム管理所　TEL 024-596-1275
所長　森（もり） 禎一（ていいち）　（内線201）

○小名浜港湾事務所　TEL 0246-53-7100
副所長　田中（たなか） 道幸（みちゆき）　（内線302）
企画調整課長　佐藤（さとう） 義貴（よしたか）　（内線331）

◎国土交通省 北陸地方整備局

○阿賀野川河川事務所　TEL 0250-22-2211
副所長　保要（ほよう） 牧央（まきお）　（内線204）

○阿賀川河川事務所　TEL 0242-26-6441
副所長　鈴木（すずき） 忠彦（ただひこ）　（内線204）

【平成30年度　福島県内　主要事業一覧】

事業区分		事業名	市町村名	H30事業費（百万円）	H30事業内容	頁
●新規事業箇所						
道路	直轄	国道6号　福島6号交通安全対策（小浜交差点改良）	いわき市	6	調査設計	
道路	直轄	国道4号　福島4号電線共同溝（松山町地区）	福島市	15	調査設計	
道路	直轄	国道4号　福島4号交通安全対策（荒井交差点改良）	本宮市	15	調査設計	
公園	直轄	国営追悼・祈念施設(仮称)整備事業（福島県双葉郡浪江町両竹地区）	浪江町	100	基本設計、測量等	P5
営繕	直轄	福島第2地方合同庁舎整備事業	福島市	4	敷地調査	
●完成・開通予定事業						
営繕	直轄	福島地方合同庁舎改修事業	福島市	57	外壁改修、給排水設備改修	
●主要継続事業						
河川	直轄	阿武隈川上流　河川改修事業　（本宮左岸地区）	本宮市	1,017	築堤、橋梁架替、用地取得	P6
河川	直轄	阿武隈川水系　本宮地区かわまちづくり	本宮市	10	管理用階段　等	P6
河川	直轄	阿武隈川上流　河川改修事業　（御代田地区）	郡山市	(194)	築堤、用地取得	P7
河川（砂防）	直轄	阿武隈川水系直轄砂防事業（下高湯沢第1砂防堰堤）	福島市	(719)	砂防堰堤工	P7
河川	直轄	阿賀川下流狭窄部改修（長井地区）	喜多方市	(381)	河道掘削 法面対策	P8
河川	直轄	阿賀川河川改修事業（宮古地区）	河沼郡 会津坂下町		築堤	
河川（砂防）	直轄	滝坂地区直轄地すべり対策事業	耶麻郡 西会津町	(749)	調査設計、用地補償、地すべり対策工事	P8
道路	直轄	国道121号　湯野上バイパス	南会津郡 下郷町	1,020	調査設計、用地補償、改良・橋梁工事、トンネル着手	P9
道路	直轄	国道4号　鏡石拡幅	岩瀬郡 鏡石町	1,050	調査設計、支障物移転、改良・舗装工事	
道路	直轄	国道4号　伊達拡幅	伊達市～ 伊達郡国見町	500	調査設計、用地補償、改良・舗装工事	
道路	直轄	国道6号　勿来バイパス	いわき市	200	調査設計、用地補償	P9
道路	直轄	国道13号　福島西道路（Ⅱ期）	福島市	1,400	調査設計、用地補償、改良工事	

※　★の事業は、復興庁からの配分事業である。

※　事業費の（　）の金額は、以下河川・水系単位の全体額

阿武隈川上流、阿武隈川水系（福島県）

事業区分		事業名	市町村名	H30事業費（百万円）	H30事業内容	頁
●主要継続事業						
道路	直轄	国道49号　北好間改良	いわき市	478	調査設計、用地補償、工事着手	P10
道路	直轄	国道４９号　会津防災	河沼郡柳津町～耶麻郡西会津町	300	調査設計、用地補償、工事着手	
道路	直轄	★（路線名：東北中央自動車道） 国道115号　相馬福島道路（相馬～相馬西）	相馬市	4,069	調査設計、支障物移転、改良・橋梁・トンネル・舗装工事	P10
道路	直轄	★（路線名：東北中央自動車道） 国道115号　相馬福島道路（霊山～福島）	伊達市～伊達郡桑折町	18,360	調査設計、用地補償、改良・橋梁工事、トンネル着手	P11
道路	直轄	★ 国道399号　十文字改良	いわき市	2,150	調査設計、改良・トンネル工事	P11
道路	直轄	★ 県道吉間田滝根線　広瀬改良	いわき市～田村市	6,020	調査設計、用地補償、改良・橋梁・トンネル工事	P12
道路	直轄	国道49号　福島49号交通安全対策 （滝額付加車線整備）	河沼郡柳津町	75	改良工事・調査設計・支障物移転	P12
道路	直轄	国道４号　福島４号電線共同溝（入江町地区）	福島市	110	調査設計、支障物移設、本体工事	P13
港湾	直轄	★ 相馬港　3号ふ頭地区　国際物流ターミナル(耐震)整備事業	相馬市新地町	750	消波工	
港湾	直轄	★ 小名浜港　国際物流ターミナル整備事業	いわき市	7,210	岸壁本体工、浚渫工	P13

※　★の事業は、復興庁からの配分事業である。

※　事業費の（　）の金額は、以下河川・水系単位の全体額

阿武隈川上流、阿武隈川水系（福島県）

国営追悼・祈念施設（仮称）整備事業

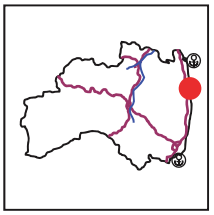
H30：100百万円

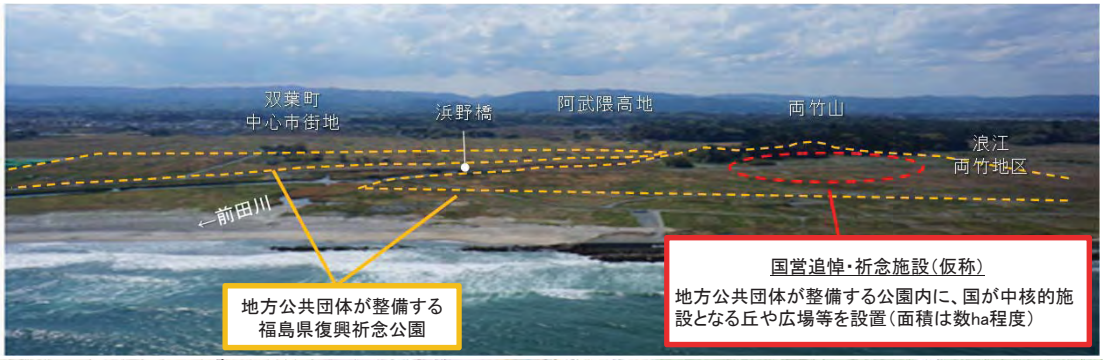
完成予定：ー

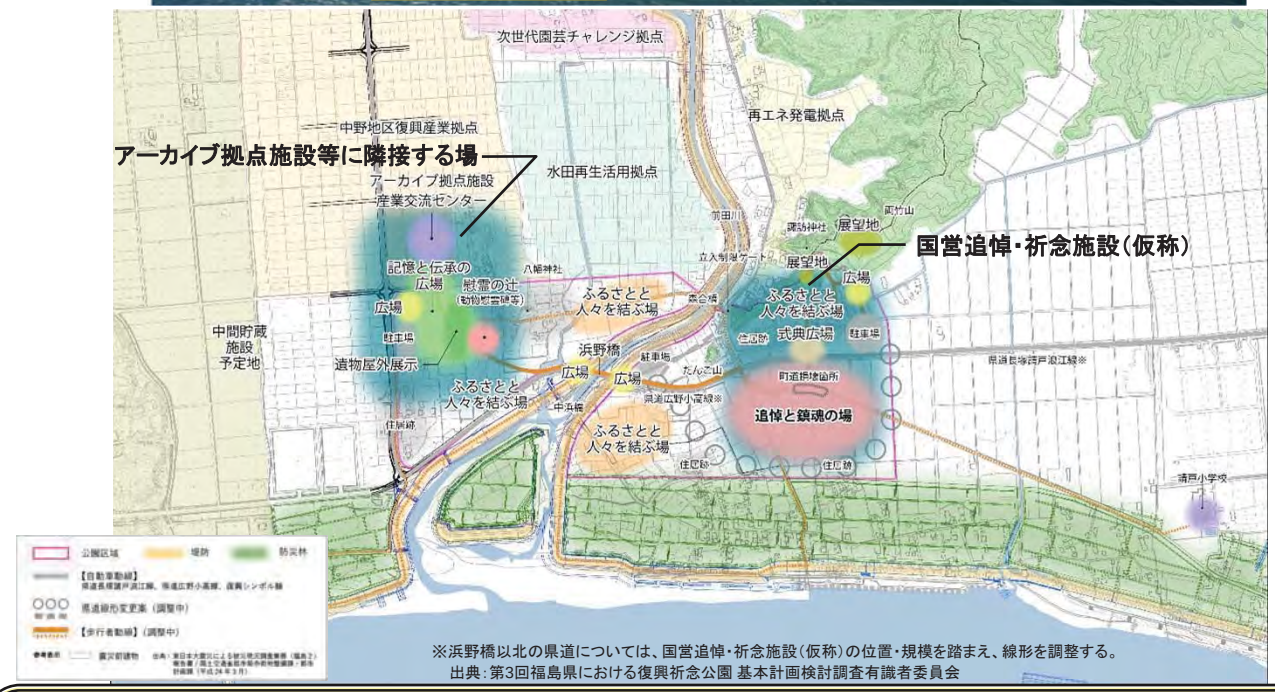
新規	福島県双葉郡浪江町両竹地区	公園	直轄

【事業の概要】

東日本大震災による犠牲者への追悼と鎮魂や、震災の記憶と教訓の後世への伝承とともに、国内外に向けた復興に対する強い意志の発信のため、福島県と双葉町及び浪江町の連携の下、県が福島県双葉郡双葉町中野地区、両竹地区、浪江町両竹地区、中浜地区に整備する「福島県復興祈念公園」の中に、中核となる丘や広場等の施設を整備します。







【整備効果】

本施設の整備により、東日本大震災の犠牲者への追悼・鎮魂、教訓の伝承、復興の象徴の場が形成されるとともに、多様な主体が参画できる場が形成される等の効果が見込まれます。

【平成30年度の事業内容】

平成30年度は基本設計、測量等を実施します。

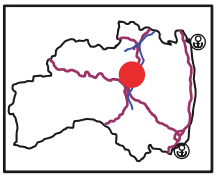
阿武隈川上流 河川改修事業(本宮左岸地区)

H30:1,017百万円

完成予定:H30年代

継続	福島県本宮市	河川	直轄

堤防の高さが計画より低く、これまで度々浸水被害を受けてきたことから、築堤により浸水被害の解消を図ります。
平成30年度は、築堤、橋梁架替及び用地取得を実施します。





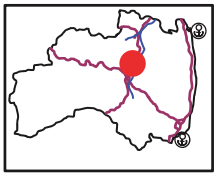
阿武隈川水系 本宮地区かわまちづくり

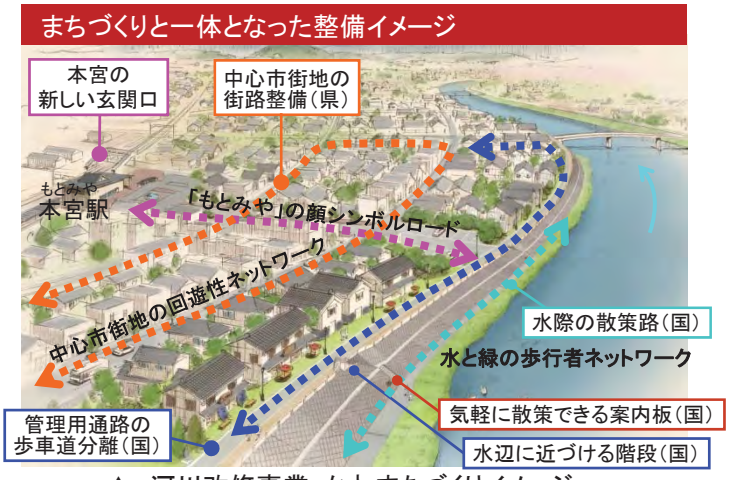
H30:10百万円

完成予定:H36

継続	福島県本宮市	河川	直轄

本宮地区は、住宅や商店が密集する本宮市の中心市街地が存在していることから、堤防整備やまちづくりと連携して、かわまちづくりを展開していきます。
平成30年度は、管理用階段を整備します。





▲ 河川改修事業・かわまちづくりイメージ



▲ 一部完成した堤防と階段整備イメージ

阿武隈川上流　河川改修事業（御代田地区）

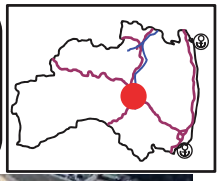
H30：194百万円※

完成予定：H32

継続	福島県郡山市	河川	直轄

※上記の事業費は、当該水系全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

・平成23年9月洪水において、家屋浸水被害を受けた郡山市御代田地区の堤防未整備区間において、築堤により浸水被害の解消を図ります。
　平成30年度は、用地取得等を実施します。





阿武隈川水系直轄砂防事業　下高湯沢第1砂防堰堤

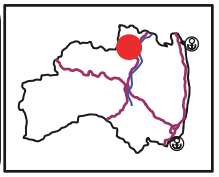
H30：719百万円※

完成予定：H32

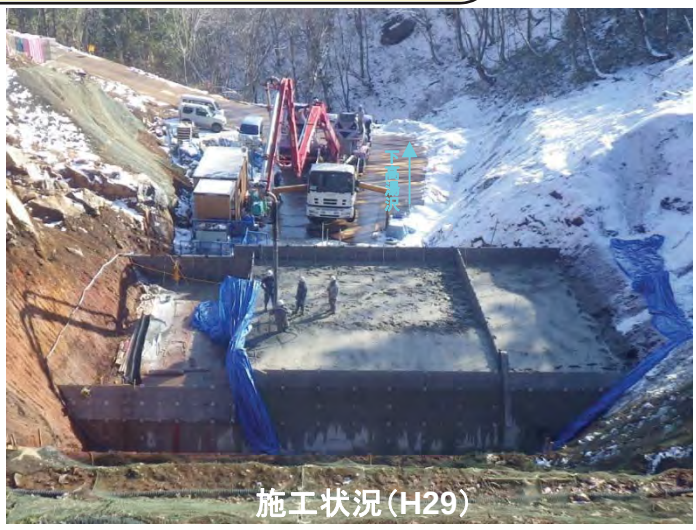
継続	福島県福島市	河川（砂防）	直轄

※上記の事業費は、当該水系全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

【事業の概要】
・荒廃が著しい下高湯沢において、下流への土砂流出による被害を軽減します。
・平成30年度は、砂防堰堤の整備を実施します。







阿賀川（あがかわ）　河川改修事業（下流狭窄部改修（長井（ながい）地区））

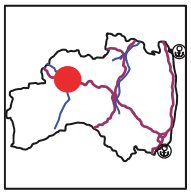
H30:381百万円※

完成予定　：　ー

継続	福島県喜多方（きたかた）市	河川	直轄

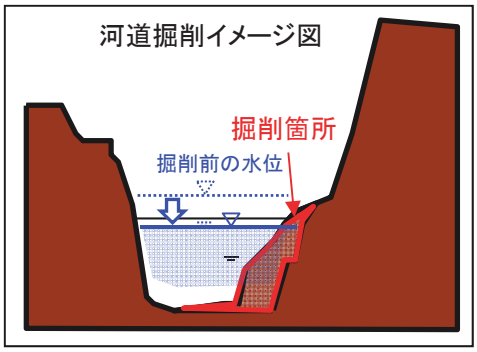
※上記の事業費は当該水系の福島県分の事業費（工事諸費を除く）を記載

阿賀川下流部は川幅が狭い狭窄部のため、洪水時に狭窄部上流で水位がせき上がり、水害発生の原因となっています。このため、狭窄部上流の水位せき上げの解消を目的として、継続して河道掘削を実施します。





河道掘削により狭窄部上流の水位低下を図り、治水安全度を向上させます。



滝坂地区直轄地すべり対策事業の推進

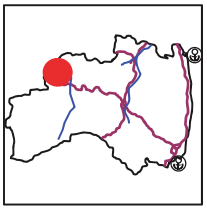
H30事業費:749百万円※

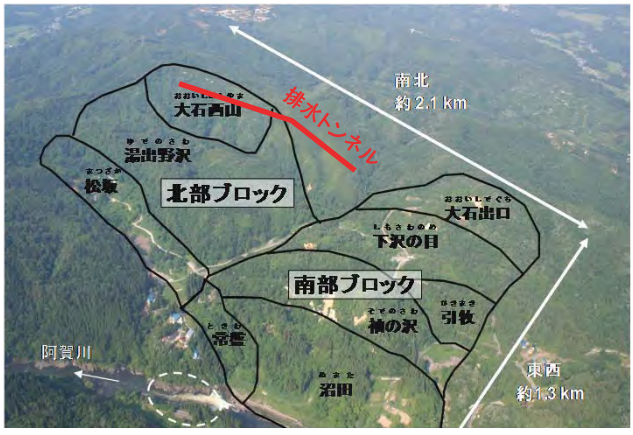
完成予定　：　ー

継続	福島県耶麻郡（やまぐん）西会津町（にしあいづまち）	河川	直轄

※上記の事業費は当該水系の福島県分の事業費（工事諸費を除く）を記載

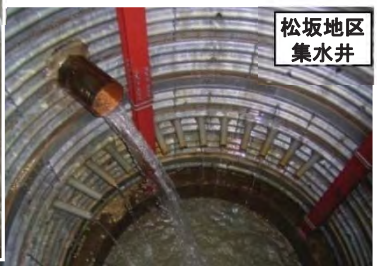
滝坂地すべりの活動が活発化した場合、阿賀川の河道閉塞に伴う湛水により広範囲に被害が想定されるため、重点的に地すべり対策を実施しています。





地すべり対策事業の推進により土砂災害に対する地域の安全度の向上を図ります。





国道121号　湯野上（ゆのかみ）バイパス

H30：1,020百万円

開通予定：　ー

継続	福島県南会津郡下郷町（みなみあいづ　しもごうまち）	道路	直轄

国道121号　湯野上（ゆのかみ）バイパスは、地域高規格道路「会津（あいづ）縦貫南道路」の一部を構成し、並行する国道121号の通行規制区間解消等を目的とした幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。







▲国道121号の落石状況

湯野上バイパスの整備により、災害時のリダンダンシー確保や速達性向上等が図られます。

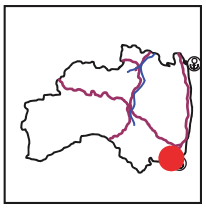
国道6号　勿来（なこそ）バイパス

H30：200百万円

開通予定：ー

継続	茨城県北茨城市（きたいばらき）～福島県いわき市（ふくしま）	道路	直轄

勿来（なこそ）バイパスは、国道6号の茨城（いばらき）・福島県（ふくしま）境における津波浸水区間の回避と渋滞緩和等を目的とする道路です。







▲国道6号（御城前（みじょうまえ）交差点付近）の渋滞状況

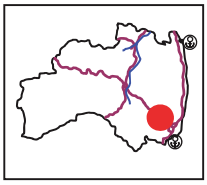
勿来バイパスの整備により、津波浸水等の災害リスクを回避するネットワークが確保できます。

国道49号　北好間（きたよしま）改良

H30：478百万円
開通予定：　－

継続	福島県いわき市	道路	直轄

国道49号　北好間（きたよしま）改良は、並行する国道49号の交通混雑緩和、交通安全の確保、沿道環境の改善等を目的としたバイパス事業です。







▲国道49号の混雑状況

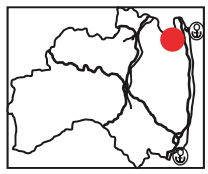
北好間改良の整備により、国道49号の交通混雑の緩和等が図られます。

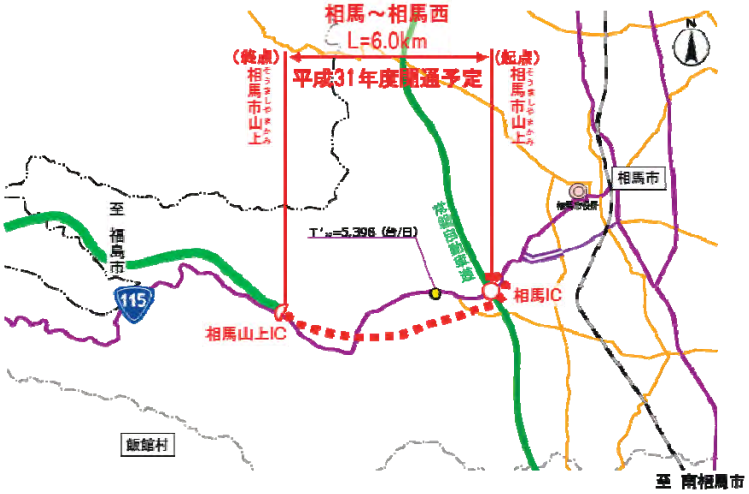
（路線名：東北中央自動車道）国道115号　相馬福島道路（相馬（そうま）～相馬西（そうまにし））

H30：4,069百万円
開通予定：H31

継続	福島県相馬市	道路	直轄

相馬福島道路（相馬～相馬西）は、東日本大震災被災地と内陸との強力な連携を図り、被災地の早期復興を支援し、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。







▲整備状況

相馬福島道路（相馬～相馬西）の整備により、被災地の早期復興に寄与するとともに、災害時における代替路の確保が図られます。

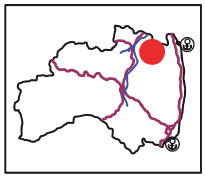
国道115号　相馬福島道路（霊山～福島）

H30：18,360百万円

開通予定：一部H32

継続	福島県伊達市～伊達郡桑折町	道路	直轄

相馬福島道路（霊山～福島）は、東日本大震災被災地と内陸との強力な連携を図り、被災地の早期復興を支援し、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。







▲霊山～福島の整備状況

相馬福島道路（霊山～福島）の整備により、被災地の早期復興に寄与するとともに、災害時における代替路の確保が図られます。

国道399号　十文字改良

H30：2,150百万円

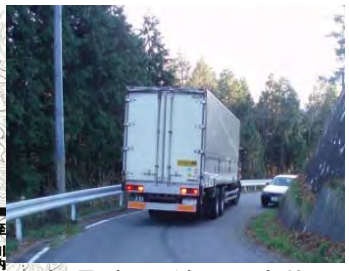
開通予定：ー

継続	福島県いわき市	道路	直轄

十文字改良は、国道399号の事前通行規制区間や防災危険箇所、未改良区間の回避により、住民生活等における定時性や速達性の確保を目的とする防災事業ですが、改築規模が大きく、長大トンネルの施工を要し、高度な専門技術を必要とすることから、国による代行事業として整備するものです。







▲幅員狭小・線形不良状況

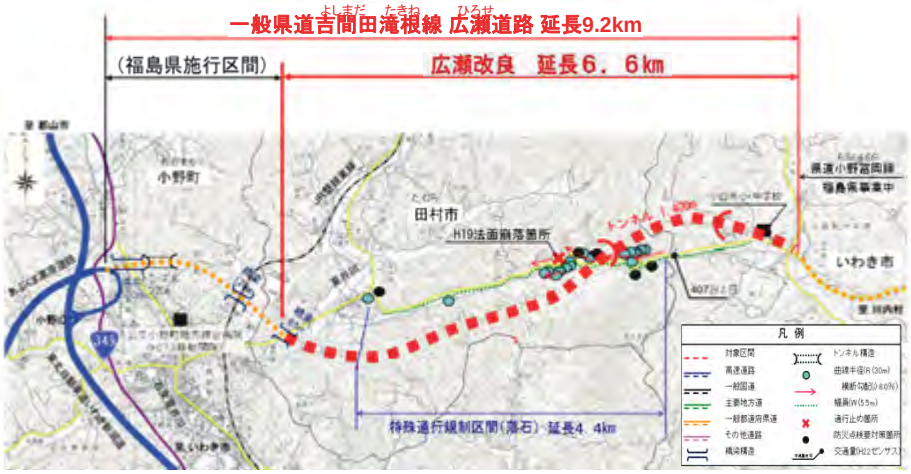
県道吉間田滝根線　広瀬改良

H30：6,020百万円
開通予定：ー

継続	福島県いわき市～田村市	道路	直轄

広瀬改良は、県道吉間田滝根線の特殊通行規制区間や防災危険箇所、未改良区間の回避により、住民生活等における定時性や速達性の確保を目的とする防災事業ですが、改築規模が大きく、トンネルや長大橋の施工を要し、高度な専門技術を必要とすることから、国による代行事業として整備するものです。







▲幅員狭小状況

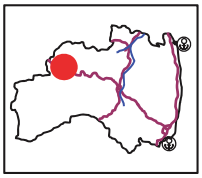
広瀬改良の整備により、幅員狭小区間などの未改良区間を回避することで安心・安全な交通が確保されます。

国道49号 福島49号交通安全対策（滝額付加車線整備）

H30：75百万円
開通予定：　ー

継続	福島県河沼郡柳津町	道路	直轄

滝額付加車線整備は、長い上り坂において大型車の速度低下による交通混雑が発生し、冬季には走行不能車両による通行止めが発生しているため、付加車線を整備し交通の円滑化を図る事業です。







▲走行不能車両により渋滞している状況

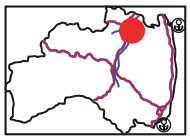
付加車線整備により、交通の円滑化が図られます。

国道4号　福島4号電線共同溝（入江町地区）

H30：110百万円
完成予定：ー

継続	福島県福島市	道路	直轄

【事業の概要】
　入江町地区電線共同溝は、電線共同溝を整備し無電柱化をすることで、震災時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援するものです。





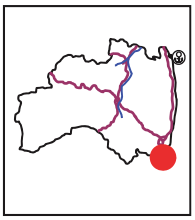


小名浜港　国際物流ターミナル整備事業

H30：7,210百万円
完成予定：H40

継続	福島県いわき市	港湾	直轄

　資源・エネルギー等の広域的かつ効率的な海上輸送ネットワークの拠点として、大型輸送船に対応した国際物流ターミナルを整備します。また、耐震強化岸壁を整備することにより、大規模災害時にも物流機能を維持し、産業活動を支援します。







▲国際物流ターミナルの整備状況